



## 頑張ってます！赤十字奉仕団

現在市内には6つの赤十字奉仕団があり、40年以上の永きにわたり、赤十字の博愛人道の精神に基づき、災害被災地への義援金の募集や地域のつながりづくりとしての「一声ふれあい運動」など、福祉の向上のため、日々幅広く活動を続けておられます。また昨年10月には皇居勤労奉仕にも参加されました。



これからも、知識と経験、そしてモチまへの明るさをもって、市内福祉の向上のために貢献されることを期待しています。

(社会福祉課)

一般の部  
大賞



「鳳舞」伊原 康代さん(高島市)

少年の部  
大賞



饗庭 剛さん(本庄小学校3年)

「第15回扇面の美展」  
の大賞作品です！

12/10 日

12/17 日

藤樹の里文化芸術会館で開催した第15回扇面の美展には、友好都市の大洲市や守口市をはじめ、遠くは岩手県や神奈川県より一般の部294点、少年の部320点、合計614点の応募がありました。市内小学生の作品も力作ばかり。会場にはたくさんの方が訪れ、会場いっぱい開いた扇子の華を鑑賞されていました。

(生涯学習課)



11/23 木

## おつかれさまでした マキノスキー場リフト撤去へ

昭和30年(第2リフトは昭和38年)に完成し、京阪神をはじめ中部・関西のスキーヤーを楽しませたマキノスキー場の2機のリフトが、このほど長年の役割を終えて撤去されることになり、マキノ索道の関係者や地元牧野地区の住民など約30人が、花束の贈呈を行うなど長年の安全運転の労をねぎらいました。

関西きっての老舗のスキー場であるマキノスキー場は、最盛期では年間20万人のスキーヤーが訪れましたが、近年のスキー人口の減少や老朽化により、2シーズン前からリフトの運行が休止されていました。リフトを運行していた49年間は、無事故で運行が行われており、この間の関係者のご苦労が推察されます。

今では、リフトの代わりに動く歩道「サンキッド」がその役割を引き継ぎ、幼児からおじいさん・おばあさんまで3世代交流のファミリー向けスキー場として設備や周辺環境の整備がなされるなど、新たな歩みを始めています。

(マキノ支所地域振興課)

# まちネタ 写真館

あんなできごと、こんな人。まちで起こったホットなニュースを紹介します。ニュースは皆さんから大募集!! あなたのとびつきを紹介してください。毎月5日〆切。秘書広報課までご連絡ください。



11/23 木

## 心に響いた 「2006高島市青少年育成大会」

高島市青少年育成市民会議の主催で、朽木の「やまびこ館」で開催された「2006高島市青少年育成大会」は、200人余りの参加を得て、中学生の意見発表をはじめ、合唱団や緑の少年団の活動発表のほか、青少年育成コーディネーター伊藤幸弘さんの講演を聞き、終わりには「いじめ」にかかる緊急決議を行いました。

この大会を機に、親が、学校が、地域が子どもたちとのかかわりを見直し、青少年の健全育成に積極的に取り組んでいくことを確認しました。  
(青少年室)

## マキノ地区子ども会 冬季リーダー研修会

11/26 日



マキノ町子ども会指導者連絡協議会では、マキノ地域の小学校4年生から6年生70人を集めて、冬季リーダー研修会を開催しました。

研修会では、炊き込みご飯づくりや静電気を貯める実験などを行い、自分たちの食生活や暮らしの中にある不思議を発見することで、食育や科学に対する興味を膨らます機会になったことと思います。

子ども会リーダーとなる子どもたちが、家庭や地域でこの体験をみんなに伝える役割を担ってくれることを期待しています。

(マキノ支所地域振興課)



まもなく発行 高島市勢要覧「環の郷」

高島市が発足して2年。この高島市の魅力をビジュアルで紹介する冊子、高島市勢要覧「環の郷」を1月15日号の広報たかしまと同時に配布させていただきます。どうぞお楽しみに！

なお、「広報たかしま」を公衆施設や金融機関等の配布拠点へ取りに行っていた方から、次の方へお渡しします。

- ・各支所地域振興課
- ・マキノ土に学ぶ里研修センター



今津東コミュニティセンター  
・やまびこ館(朽木)  
・安曇川ふれあいセンター  
・アイリッシュパーク(高島)  
・新旭公民館  
・市役所秘書広報課  
(秘書広報課)



【最優秀作】  
河野 通(大阪府)

中江藤樹生誕400年記念事業に使用する「ロゴマーク」を記念事業準備委員会が募集したところ、藤樹先生に関心を持たれている全国の幅広い年齢層の方々から応募があり、選考委員会で厳正な審査の結果、最優秀作および佳作が決定しました。

【佳作】  
信貴 正明(新潟県)  
永石 繁信(佐賀県)  
松井 乾(高島市)  
小島 寿士(京都府)  
大室 康夫(静岡県)  
澤井 美里(高島市)  
井口やすひさ(東京都)  
大島 文太(高島市)  
中川あや乃(高島市)  
小林 明彦(高島市)

〈入賞の趣意〉  
中江藤樹生誕400年の「中江藤樹」と「400」を象徴化して、日本陽明学の祖「中江藤樹」が藤樹書院で教える説く姿を表現しました。  
人の道は「孝」が根本である。翁問答など先人の教え、教訓は、いつの時代にも色あせないと思います。

## 中江藤樹生誕400年記念ロゴマーク決定